

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		運動療育支援教室ほおずき		公表日		令和8年1月28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		遊び場所、活動空間などそれぞれのスペースを視覚で分かるようにしている。集団活動が行えるような空間になっている。	スペースの確保はできており、別室で落ち着くための空間もある。今後も現状維持していく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5		配置基準を順守した人員を配置している。	基準に準じた職員配置をしている。今後も維持、継続していく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		バリアフリーな環境であり、視覚で分かるよう構造化されている。	目で見て分かるように工夫はしているが、より良いものがあればさらに工夫していく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		清掃、消毒等は日々行っている。定期換気と空気清浄機の併用をしながら、心地よい環境を整えられるよう努めている。	衛生対策は日々徹底している。心地よい空間を維持するため、今後も継続していきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		必要な場合に別室で対応できるようになっている。	今後も継続していく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		毎月の会議や朝夕のミーティング等、職員が意見し合える場を設けている。	今後も継続していく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		評価表の意見を受け、職員で共有し、必要に応じ検討や改善に努めている。	様々な意見を今後に繋げていくための機会を設けていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		話し合いの機会は設けており、意見の収集を行うと共に、改善に取り組めるよう努めている。	今後も現状維持していく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	第三者評価による外部評価はないが、広く外部からの訪問は受入れており、オープンな事業所を心掛けている。定期的な法人内チェックも行い、法令順守、業務改善に努めている。	適切な運営に努めるとともに、定期的に実施を検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		法人主催の研修、事業所内での法定研修、外部開催研修などへ参加している。	今後も様々な研修の機会に参加できるよう努めていきます。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		支援活動の内容等はHPに公表している。	年間の支援内容を作成し、子どもたちが楽しんで取組めるよう、都度改編を行っています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	1	保護者とも情報共有を行い、相談支援専門員からの情報なども参考にしながら、日々の状況を踏まえて作成している。	不十分な所は改善し、より良いものを作成していきます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	2	多職種が参加し意見を出し合っている。	最善の利益に繋がっているかどうかの判断が難しい所がある。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	2	作成したものを職員間で共有している。	共有はしているが、必ずしも計画に沿った支援ができているか分からない事もある。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	アセスメントツールを用いての確認や直接意見を貰う場を設ける等し確認している。	今後もより良いものを用い、把握に努めていきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	ガイドラインに基づいた支援内容を組み込んだ計画作成をおこなっている。	ガイドラインに基づいて、より良いものにしていけるよう努めていきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	職員で意見を出し合いながらプログラムの立案を行っている。	今後も継続していく。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	基本のベースは固定しているが、活動の中身は変えながら実施している。	バリエーションは増やしていけるよう努めていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	活動場面では分けて行っている。計画には必要に応じて記載をしている。	個々の状況を把握しながら都度必要に応じ対応できるよう努めていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		役割分担等は日々確認は行い、必要に応じ協力体制を構築している。	今後も継続していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	記録にも残しながら、できるだけその日のうちにフィードバックする等している。	今後も継続していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		記録は記載しており、いつでも確認できるようになっている。	今後も継続していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		計画書見直しの前には必ずモニタリングを実施している。	今後も継続していく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4	1	ガイドラインに沿って支援プログラムの中に取り入れて支援に繋げている。	今後も継続していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		活動の中で自己選択自己決定する機会を設けながら支援を行っている。	今後も自己選択自己決定していけるような場を提供していきます。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		参画している。	今後も継続していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	3	医療機関との直接的な連携はないが、保護者を通して確認等は行っている。	方法などを変えながら、より連携が図れるよう努めていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	保護者を通して行っている。	皆が同じようにできているわけではない為、確認行いながら連絡調整を行っていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	4	保護者を通しては情報共有を行っている。	できる範囲での情報提供にとどまっている為、方法などは検討。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3	必要に応じて行える体制は整えている。	もとめられる場合は必要に応じ提供できる体制を維持していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4	保護者を通しては情報共有を行っている。	必要に応じ、会議の場への参画なども依頼する等していければと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	現在は行えていない。	今後機会があれば機会を設けていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5	協議会の存在は知っているが、参加はできていない。	機会があれば参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		連絡帳での共有や送迎時に直接やり取りを行っている。	今後も継続していく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	個々で依頼があった際には対応している。	必要に応じ対応していく体制は継続していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1	契約時に説明を行っている。	今後も継続していく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1	面談にてアセスメント実施し意見を伺いながら、定期的なモニタリング、見直しなどを実施し作成している。	今後も継続していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	2	内容を見せながら説明し、同意を得ている。	伝わるような説明の仕方なども工夫しながら行っていきます。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1	連絡帳や電話、直接等様々な機会を通じて実施できるようにしている。	必要に応じ対応していく体制は継続していく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		5	会の開催等の機会は設けていない。参観日などの機会は設けている。	今後必要が生じれば検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情受付の窓口は設けており、契約時にも説明、玄関に掲示している。申入れがあった際には、迅速かつ適切に対応できる体制の整備も行っている。	今後も継続していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		ホームページや公式LINEなどにて情報発信は行っている。	今後もより良い情報発信ができるよう努めていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報関係の書類は鍵付きの棚に保管。情報等が必要な場合には、個人が特定できないようにするなど配慮している。	今後も継続していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		伝達、共有などに配慮しながらの意思疎通は行っている。	今後も継続していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	地域の行事等へは出向く事はあるが、事業所へ招待するような行事は行っていない。	必要に応じ対応していけるよう努めていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各マニュアルは策定しており、職員には研修の機会に周知を行っている。保護者には確認ができるよう設置はしている。各想定訓練は定期的に実施している。	確認できるように設置はしているが、周知にまでは至っていない。訓練は今後も継続していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		BCPの策定はしており、職員には研修の機会に周知を行っている。定期的な訓練の実施も行っている。	今後も継続していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	契約時に保護者に確認、把握を行うとともに、保護者からの依頼があれば服薬の確認も行っている。	事前に情報把握等をし、対応できるよう努めていきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	契約時に保護者に確認、把握を行、個別に対応はしている。	保護者からの依頼での対応はしているが、医師の指示書などの確認はできていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画は作成し、定期的に更新をしている。内容についても研修の機会を設け周知している。	見直しなども行いながら、今後も継続していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	安全計画は玄関に設置している。	周知徹底しきれていない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットの事例があった際には報告書に記載するとともに、共有し検討の気かを設けている。	今後も継続していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		定期的な研修を実施している。	今後も継続していく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		拘束に関する研修を定期的に実施している。必要な際には、委員会に議題を上げ検討が行えるようにしている。	身体拘束に繋がらないよう工夫を行っています。